

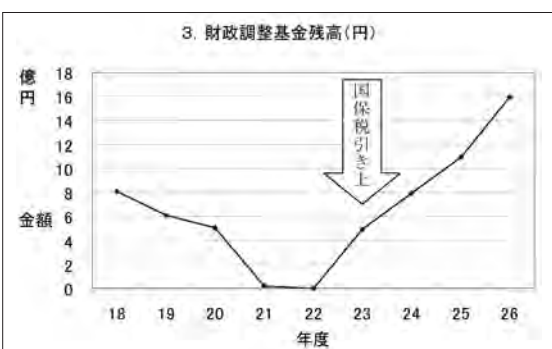


このひろふみ  
今野 裕文  
(日本共産党)

●米価下落への対策は  
●国民健康保険税の引き下げを

**質問** 米価が今年の水準で推移したら、どうあがいても経営としてなりたたない。米価暴落の経済的影響と対策について伺う。  
**市長** 米価の下落により21億1千万円、直接支払額の減額で6億8千万円など農家の収入減30億円と見込まれる。他産業への影響が24億円で総額50億円になると見込まれる。両農協と共同し当面の資金手当として無利子融資制度を行うため利子補給金を今議会に提案している。引き続き営農継続できる必要な対策をとることが必要だと考えている。

**質問** 県内きつての穀倉地帯である奥州市にとっても、地方自治体として生き残るためにも、中心的課題だと思う。市長として、国、県、農家に対して、明確な意思表示があってもいいのでないか。近隣の市町村、県とスクラムを組んでアピールすべきでないか。



奥州市の国保財政調整基金残高

**市長** 県とも協議しながら、具体の行動が示せるような働きかけをしたい。  
**質問** 国保税の見直しをすることだか、引き下げを前提とした検討をするのか。  
**市長** 引き下げを前提としたものではない。26年度も黒字決算の見通しである。「国保を引き下げる会」から署名を受け取ったが、あの訴えは至極当然だと受け止めた。現状、他市の状況を踏まえ、理解頂ける見直しをしたい。



すがわら けいこ  
菅原 圭子  
(新社会)

●奥州市の将来像は  
●子育て特区の実現を  
●農産物のブランド力の強化を

**質問** 合併して10年になろうとしているが市長が考える奥州市の将来像は。  
**市長** 地域の個性が光り輝く自治と協働のまち、幸せが実感できるまちと考える。  
**質問** 「まち・ひと・しごと創生法」「改正地域創生法」を活用して婚活支援、若い世代の生活安定などを考えた「子育て特区」として実現の計画を考えてみることはできないものか。  
決定してからでは遅く、早期に計画を立て、十分な検討を重ねて発信すべきではないか。  
**市長** まだ明確でないことは進められない。  
**質問** 行財政改革の医療費見直しについて、所得割による乳幼児、小学生等の外来、入院とも自己負担が出てくるが、その内容とは。  
**市長** 今後は所得状況を考慮した一か月あたりの自己負担額を定め、それを超えた金額を給付する。入院については小学校6年まで全ての子供が自己負担なしで給付が受けられるよう支援を図っている。

**質問** 奥州市には前沢牛・江刺リンゴ、特Aの米など、ブランドと言われる農畜産物があるが首都圏では知名度が薄く消費量が少ない。広げる施策は。  
**市長** 6次産業化ビジョンの理念「食の黄金文化奥州」を掲げ地域ブランドの認知度を高めていきたい。  
**質問** 6次産業事業を進めろうえで様々な発想が出てくると考える。市のHPに「胆沢ダムカレー」を奥州市の食材で作ったと載っていた。最近メニューにカロリー表示がされている店もあり、健康管理のために利用されている。この計画を進めていくメンバーの中に管理栄養士は入っているのか。  
**市長** 入っていない。今後の取り組みに検討していきたい。



「食の黄金文化奥州」のマークと「胆沢ダムカレー」(カレールーと福神漬け以外は奥州産)